Wintergriiß

～立冬のあいさつ～



重本ゆうき
(sop.)



淀川 萌
(sop.)



小林知世
(pf.)

～PROGRAM～

＊木下牧子　/ 風を見た人
＊中田喜直　/ ちいさい秋みつけた
＊菅野よう子　/ 花は咲く
＊ドリープ　/ オペラ『ラクメ』　より　「花の二重唱」ほか

2026年 11月14日 (SAT)

14:00開演（13:30開場）

三次市民ホールきりり
サロンホール

（広島県三次市三次町111-1）

チケット　一般　：2,500円
23歳以下：1,000円
（当日+500円）

チケット半販売所
（三次市）三次市民ホールきりり・サングリーン
（庄原市）ジョイフルながえ
主　催　三次音楽家協会
後　援　三次市・三次市教育委員会・三次ケーブルビジョン・中国新聞社
問合せ　三次音楽家協会　miyoshiongakuka@yahoo.co.p　090-7373-0652

同日開催　未就学児も聴ける40分コンサート

11:00開演（10:40開場）三次市民ホールきりり　サロンホール

子ども　（18歳以下）	500円
同伴保護者	1,000円
一般大人（19歳以上）	1,500円

鑑賞をご希望の方は、電話、メール、Googleフォームからお申し込みください。
三次音楽家協会
090-7373-0652

40分コンサート
Googleフォーム

PROFILE

重本ゆうき（ Sop. ）
福岡県出身。エリザベト音楽大学に特別奨学生（全額免除生）として入学。 同大学卒業後、音楽学部4年次から大学院の授業科目の履修が認められ、合計 5 年で「学士」「修士」2つの学位を取得できる制度、5 年プログラム生としてエリザベト音楽大学大学院 1年で修了。在学中より「メサイア」 のソリストをはじめ、大学院新人演奏会等に出演。第42回中四国新人演奏会、第87回読売新人演奏会等の演奏会に出演。第38回広島新人演奏会にて優秀演奏者に選ばれ、広島交響楽団(指揮: 鈴木織衛氏)と共演。翌年に特別演奏者として同演奏会に出演する。
第12回藤井清水音楽コンクール優秀賞。第70回日本学生全国音楽コンクール北九州大会第2位。
これまでに声楽を櫻井華乃子、折河宏治、枝松瞳、淀川萌の各氏に師事。

淀川　萌（Sop.）
広島県三次市出身。広島音楽高等学校卒業。在学中に広島県代表となり全日本滝廉太郎声楽コンクール優良賞を受賞する。
国立音楽大学声楽科入学し2006年9月よりウィーンへ渡欧。2010年ウィーン・プライナー私立音楽院に在籍。2012年ベルヴェデーレ国際オペラコンクール・アテネ予選を通過しウィーンで世界大会に出場。同年、三次芸術文化賞を受賞。ヒロシマ平和創造基金奨学生（中村音楽奨学生）に選ばれる。2016年、2017年、2018年、2019年ベルヴェデーレ国際オペラコンクール日本代表に選ばれウィーン・モスクワ・リガで開催された世界大会に出場する。これまでに発声を福間まゆみ、オルガ・ワルラ・コロ、エドヴィーナ・パルツァー、クルト・ヴィドマーの各氏に、フランス歌曲をスーザン・マノフに師事。現在、後進の育成や指導なども行っている。三次音楽家協会正会員。

小林知世 （Pf.）
広島市出身。4歳よりピアノ、作曲、即興演奏を学ぶ。エリザベト音楽大学、同大学院修士課程を首席で修了。
同大学院博士後期課程を修了し、2015年、Paul Wittgenstein ≪左手のためのピアノ教則本について≫で博士号(音楽)を取得。
在学中、定期演奏会のソリストとしてエリザベト音楽大学オーケストラ(指揮: 秋山和慶氏)、第140回日演連新人演奏会にてグリーグ作曲ピアノ協奏曲を広島交響楽団(指揮: 小田野宏之氏)などと共演するほか、第16回レクイエム イン ヒロシマにて、プロコフィエフ作曲ピアノ協奏曲第4番(左手のために)を広島センチュリー管弦楽団(指揮: 齋城英樹氏)と共演。第77回読売新人演奏会をはじめ、ドイツや東南アジアなどの音楽祭に招待演奏者として参加。ベルリンにてG.サヴァ氏に学ぶ。サンタ・イザベル音楽大学にてマスタークラスを行うほか、室内楽やアンサンブルピアニストとして国内外の著名演奏家と共演している。2020年8月サクソフォン奏者 福田ひとみ氏と初CDアルバム「Sonata 」をリリース。これまでにピアノを谷口博子、松村英臣、前田麻紀、岡本えり、高良芳枝、柴田美穂、J.ルヴィエの各氏に、作曲・対位法を平井正志氏に師事。現在、エリザベト音楽大学非常勤副手、付属音楽園講師。TA-YACピアノスタジオ講師。広島アーティスト協会正会員。

@YUUKI.NY

@MOE_YODOKAWA